

DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす

KAWAKAMI KAORI

川上
かおり

有限会社山本美創
(さくら支部)



【経営理念】

想いをかたちにする

- ・企業の繁栄に貢献する看板創り
- ・一人ひとりが最良の価値を持って共に築く空間創り
- ・事業の継続的な成長を通じて地域に根差す未来創り

取材に何うと、「ようこそ・・・水野様 遠藤様 本日はご来社頂きましてありがとうございます」目に飛び込んで来たウエルカムボード。その脇には誇らしげにほほ笑み、出迎えてくれた社員の方の立ち振る舞い、「想いをかたちにする”山本美創の社員教育を垣間見ることができました。

(P5へ続く)

2023 - 5 May

VOL. 539 毎月1日発行

特集

- 登録スタート! 中同協定時総会 in 埼玉
- 中小企業問題全国研究集会 in 長野報告

<https://www.saitama.doyu.jp>

社長の
学校®

中同協 第55回 定時総会in埼玉に向けて

あなたも得しに行きましょう! 参加しないなんて損ですよ!!

「中同協 第55回定時総会in埼玉」が7月13日と14日に開催されます。コロナ禍の制約の中、全国から参加される会員の方たちをお迎えするため、設営実行委員会は「全体部会」「総務部会」「分科会部会」「歓送迎・懇親会部会」「広報・動員部会」「オプションツアー・物産展部会」「組織強化支援室」で取り組んでいます。

今回は「歓送迎・懇親会部会」のリーダー福井千波氏(川口支部)と「広報・動員部会」のリーダー斉藤壽和氏(東彩支部)にお話を伺いました。

「歓送迎・懇親会部会」は、定時総会に他の都道府県から参加される会員の方たちが気持ちよく参加できるよう、ウェルカムな雰囲気作りとスムーズな誘導が主な仕事です。また、交流のひろばを設置し、会員同士が交流を深めることや、埼玉県の魅力を伝える勉強会を企画するなど、様々な役割を担っています。

現在は「受付・交流のひろばチーム」、「迎え入れ・誘導チーム」、「ガイドマップ作成チーム」に分かれて、各チームで段取りを詰めている段階。

7月までに決めるべきことがたくさんあるため、他の部会と協力して素晴らしい定時総会にするために全力で頑張っているとのこと。

部会メンバーはまだまだ募集中とのことですので、設営実行委員会に参加されていない方は、検討されてはいかがでしょうか。

「広報・動員部会」は、2022年4月頃からメンバーを募り、広報仲間づくりチームとしてスタートしました。第1回ミーティングでは、活動方針を話し合い、その後実行委員長の宇樺純江氏(大宮南支部)と小松和人氏(川口支部)の協力のもとPR動画を制作。また事務局で作成したデザインカードから横断幕なども作成し、8月に行われた沖縄での定時総会で、次回は埼玉で開催されることをアピールしてきました。

現在は、コンペにより選出された協力企業と共に作成したグランドデザインを基にチラシも制作。FacebookやWebページ、新しいバージョンのPR動画も完成しました。

今後は総務部会と協力して、公式のLINEページ、ガイドブック、リーフレットを作成し、当日の参加者の方々の案内をスムーズに行うために、スマホやタブレットによる電子媒体と紙媒体の両面からツールを作り上げていく予定です。



最後に、広報・動員部会のメンバーでもあり、当取材リーダーの島袋より、全国大会へ参加することの大きな価値について述べさせていただきます。

私は入会5年目で全国大会へは2度しか参加していません。しかし、そこには新たな出会いがあり、強い繋がりを見出すことができました。「参加しなくてはもったいない…というより参加しないと損である」と思います。全国大会に参加することで、他の都道府県の方たちと知り合うことはもちろんですが、同じ埼玉県内の会員さんとも知り合うこともできるチャンスでもあります。自社のビジネスを発展させていくヒントを得ることができます。全国大会は、人と人が繋がることができる貴重な場でもあるのです。

初めて参加したときは、前日まで不安を感じていて「できれば行きたくないな」とさえ思っていました。しかし重い腰を上げて、いざ参加してみると、目から鱗が落ちるような刺激を受けたのです。ぜひあなたも「得をするために」参加してください。参加人数が多ければ多いほど、新しい繋がりが生まれてくるのです。

(東部支部 島袋輝仁 記)



Facebook



YouTube



ホームページ

取材:島袋輝仁(東部支部)、中山晴喜(中部支部)
北村政義(大宮南支部)、柘辺博久(大宮中央支部)

第55回中小企業家同友会全国協議会定時総会 in 埼玉 開催にあたり、 分科会チームからのメッセージを掲載します。



「分科会チーム」はこの度、中同協定時総会で分科会を担当する機会をいただきました。

埼玉同友会の会員の皆さまにおかれましては、開催県の主体者として、実行委員会への参画とご協力をよろしくお願い致します。

開催テーマは、“今こそ同友会理念の実践で地域と中小企業の未来を創りあげよう”です。まさに、同友会運動の根幹です。同友会は、1975年に発表した「中小企業における労使関係の見解」で、“従業員はパートナー”と定義して、「人を生かす経営」を47年間実践してきました。

中同協50年誌には次のように「労使見解」に関して述べています。

労使見解は、まず経営者の姿勢はいかにあるべきかを第1にまとめ、経営者は、経営環境がいかに厳しくとも、困難の原因を安易に他に求めて経営をあきらめたり、投げやりにならないで経営者の責任を果たすこと、経営の維持と発展に全力を尽くして情熱を傾けるという姿勢こそが大切であることを強調しています。そういう姿勢のない経営者は労働者からも信頼されないとしました。

第2には、経営者は英知を結集して長期的にも経営計画を作成し、経営全般について明確な指針をつくるのが大切であると指摘しています。

第3には、社員をもっとも信頼のできるパートナーと考え、高い次元での団結をめざし共に育ちあう教育(共に育つ)を重視していることです。

第4には、経営を安定的に発展させるためには、外部経営環境の改善にも労使が力をあわせていこうということです。要するに、経営の全ての機能を十分に発揮させるキーポイントは、正しい労使の信頼関係を企業内に打ち立てることであり、それが経営者の責務であると主張しました。その根底に流れているのは「人間尊重の精神」とその具体的実践であるとの理解を示したのです。

中同協定時総会は、会員が「人を生かす経営」を正しく学んで、正しく実践している同友会活動の成果を確認する機会です。分科会では、全国の会員から、自社の経営と同友会運動に至る実践を、成功も失敗も報告していただきます。

分科会チームでは、開催に向けてあらためて同友会の例会づくりのあり方を共有させていただきます。改めて人間尊重・労使見解、人を生かす経営とは何かを問い、「変えてはいけないこと、変えるべきこと」を見極めながら企業変革していくことが課題です。今こそ、人を生かす経営の総合実践です。互いの経営を高めて、最高の舞台を準備して全国の仲間をお迎えしましょう。よろしくお願い申し上げます。

登録
スタート



第55回

中小企業家同友会全国協議会

定時総会 in 埼玉

50th
next さいたま

GO!
-55-
GO!
SAITAMA

2023年

7/13(木) 7/14(金)
13:00開会 12:00閉会

メイン会場 大宮ソニックシティ 他

会費 14,000円 (交流会費別)

■お申込み用
2次元コード



第53回 中小企業問題全国研究集会 in 長野

今、この瞬間が未来をつくる～地域が変われば日本が変わるから～

3月2～3日、第53回中小企業問題全国研究集会が長野とオンラインで開催され、47同友会から1356名(うちオンライン参加327名)の参加がありました。

当日は「情勢」「市場創造」「デジタル化」「社員教育」「環境経営」などをテーマに12分科会、オンラインでは4分科会、合わせて16の分科会で学び合い、埼玉同友会からは、35名が参加しました。現地に参加された埼玉会員の報告を一部紹介します。

第8分科会(採用)

新卒採用により地域で持続する企業へ ～待つな。動け! 若者に選ばれる会社づくりへの挑戦～

報告者: **牛越弘彰氏**

〈株式会社牛越製作所 代表取締役 長野同友会代表理事〉



私が採用の分科会を選んだ目的は、将来日本では人材不足が顕著になることが予測懸念されているので、どのように地域や若者に選ばれる企業づくりをされているのかを学ぶためでした。

まずは報告者の自己紹介からです。創業の父親から引き継いだ二代目経営者、経営が厳しい中での事業承継。最初に心に刺さった事は、「子どもに誇れる会社にしよう」+「先代の想い」を念頭に経営理念を作り前向きになれたとの事でした。やはり想いを込めた経営理念は私を含め経営の礎になるなと実感しました。その後は新卒(高卒)を採用する際の手続きや時期等々の採用のテクニカル的要素や新卒を受け入れてからの業績の伸びの実態等を語っていただきました。新卒採用効果として、まず本人は初めての会社勤めなので、素直に育っていき、他の従業員は新人が入ってきたことで先輩としての自覚が芽生えたこと、そして職場には活気、取引先からは期待されるようになり相乗効果が生まれたとの事で、新卒採用の必要性を再認識いたしました。逆に新卒は戦力になるには時間を要すること、個々に教育計画が必要なこと等、採用の慎重さも学びました。

さてなぜ中小企業は新卒採用が難しいのか? 報告者が高校回りを行っていて一番の課題は、地元を高校生本人が知らないということでした。確かに私も高校生の頃は、メディアやTVで見る企業やある程度の上場企業は知っていましたが、地元の中小企業をあまり知らなかったように思います。現在は大企業のリクルートでさえ当時はあまり大きな会社ではなかったので知りませんでした。「この課題をどのように解決していくか、一社ではできないことも同友会仲間と一緒に考え行動していこう!」報告者はそう語りかけました。本来の参加目的の選ばれる会社づくりを深く学ぶことはできませんでしたが、同友会の一員として埼玉でも一助となるような活動をしようと思ひ会場を後にしました。

(大宮東支部 野原健志 記)

第9分科会(社員教育)

ユネスコ『学習権宣言』の今日的意義 社員の可能性の追求と豊かな成長をめざして

報告者: **宮崎隆志氏**

〈北海道大学大学院教育学研究院 教授〉



私がなぜ16分科会の中でこの分科会を選んだか。理由は2013年に初めて参加した全国大会のグループ討論で「学習権」の話聞き、社員が学ぶ環境が保証されていることが必須ということを知り、衝撃を受けました。その後、良い会社とは?と問われた時には「成長し続けられる会社」と答えるために10年間会社づくりをしてきたからです。

グループ討論のテーマは社員が「仕事を創り出す職場」を創り出すための課題は何か!? またしても衝撃を受けました。今回の報告では「自らの歴史を創る主体を形成する学習」「創造的学習」という2つの視点から内容が深められました。

私が10年共育で実践してきたことは「与えられた課題を理解し、よりうまく効率的に解決する能力を高める」ことでした。実はそれは通常の教育でした。「自らの歴史を創る主体を形成する学習」とは、学習者は世界を構成する主体であることを意識し、世界を意味づけながら実践する、自然や社会(世界)を理解し深く読み取り(課題定義型教育)、他者との対話(価値観の違いを知る)により問題を追求する中で動機が生まれ、問題が明確になれば方法を探求することが可能になる。課題解決のためには違和感を越えた世界のあり方を協働により、想像し創造する、つまり違和感のない世界をつくること=それが「創造的学習」である。

埼玉で行われた障害者問題全国交流会で私は「社会問題を自分ごととして捉え…」と挨拶しましたが、私たち経営者だけへのメッセージとして発信しました。そうではなく、会社を、地域を構成する共に学ぶ社員さんと一緒に、世界を構成する一員として捉え、行動していくことこそが本来の学習なのだ、権利なのだと感じました。出来ているつもりでいた自分を恥ずかしく思います。今日からまた、頑張ります!!

(浦和支部 横山由紀子 記)

—— 埼玉の元気を創る 中小企業家 ——

有限会社山本美創(さくら地区会)

代表取締役 川上 かわり
 埼玉県熊谷市四方寺289-1
 TEL: 048-525-0508
<https://y-kanban.jp/>



看板のデザイン・制作、デジタルサイネージ等を手掛ける有限会社山本美創。社屋は北に赤城山を望める熊谷市の北部にあります。いたるところに「サムシング・グリーン」(観葉植物)が飾られた、落ち着いたあるオフィスで取材を受けていただきました。

■同友会への入会と経営指針づくりのきっかけ

2017年に父親である創業者から事業承継を受け、代表取締役となった川上氏。「これからどうやって会社の舵取りをしていこうか?」「10年後、スタッフが今よりもっと美味しいご飯を食べられるようにするにはどうすればよいか?」を考え、眠れぬ夜も続いたとのこと。

スタッフ全員の能力を出して、スタッフ全員でお客様に向き合って一つの看板を作っていきたいとの思いはあったが、どうすれば良いのかわかりませんでした。あげく『社長と会長だけ仕事が楽しそう』と言われてしまったそうです。

そんな時に同友会を勧められ「ここで経営理念や計画を作ろう」と決めて入会后、2018年に経営指針づくりセミナーを受講し、経営指針書を作りました。

■理念に対する想いと経営指針書を作ったことによる変化

「社員全員が想いを込めて看板を作れば良いものができる」と川上氏は言います。実は彼女が社長就任した当初は社内のコミュニケーションがあまりできておらず、業務指示の会話しかできなかった時期もあったそうです。

「個々の能力で全社でお客様に向き合い、一つの看板を創っていきたい」という想いで理念の成文化に取り組みました。しかし理念の成文化は決して簡単ではなく、言葉に表していくことの難しさを感じました。その過程で「まず自分が変わ

らなければならない」と気づきます。やがて全速力で走り続ける毎日にコースが敷かれ、ゴールができました。ただ、初めて作成した指針書の計画をがむしゃらに頑張れば頑張るほど離れていく社員の心。それでもやり続けたところ、自分ごととして実行するスタッフが一人現れました。それから社内での実践のスピードが変わったと言います。指針書更新をして3年経った頃、これまで川上氏一人が抱えていた目標や課題が会社全体の共通のものとなり、今まで感じたことのなかった社風ができました。

また今期は経営理念の全社的な共有を計画に入れたところ、高卒で入社して2年目のスタッフが「自分は理念を聞いて入社した。その理念の意味を理解して仕事をしていきたい。そして新入社員にも伝えていきたい」と、理念共有の遂行責任者に立候補してくれたそうです。

ちなみに山本美創のオフィスには観葉植物(グリーン)が多いのですが、これは、「緑があれば社内の空間が明るくなりスタッフもリラックス出来ると思うので行動計画としてやらせて欲しい」と、初めて社員が率先し提案してきたサムシング・グリーン・プロジェクトなのです。

■自社の強み

最近はお客様から「山美の強みは人だよ」と仰っていたことが増えたそうです。これは川上氏が社長就任当初に考えていた、スタッフ一人ひとりの個性を活かしながら役割を持って一つの看板を創るという想いが現実化したといえます。



■これからの山本美創

社長が会社にいなくても仕事が回るようなシステム経営を目指し、それに向けて、同友会で教えてもらった新卒採用・社員共育を取り入れた組織図を作成しています。

中期計画で人事、組織づくり、新事業づくりを入れた未来の組織図も作成中で、今後社内での共有を図り実行していくことを楽しみにしています。

(水野純子 遠藤裕行 記)



脳内リフレッシュと体カづくり

木村 亮介 (戸田・蕨支部)
東京海上日動あんしん生命保険
株式会社
TEL: 03-6280-2712



果を報酬としてもらっています。

さて私のリフレッシュする時間は、普段の環境と全く違う環境に身を置くこと・体を動かすことの2つです。

【全く違う環境に身を置く】

これは普段の生活環境と全く違うところに行くことにより頭の整理やリラックスを目的にしております。近年は新型コロナウイルスの影響により海外に行くことが、難しくなっていました。ハワイであればベランダに出て波の音を聞きながら、お酒を一人で楽しめます。これは家族旅行だったとしても、家族が寝た後に一人で行きます。別にベランダで飲むことは、ハワイじゃなくても出来るのですが、普段の環境と違う場所でやるのが大事だと考えています。

私は、この時間をとても大切にしている、今やっている仕事の流れが、このままで良いのか? 優先順位は、何が一番高いのか? 今後どのように仕掛けを作っていくか? 親として、このままで良いのか? など、見つめなおします。またこの時間が、一番リラックスできる時ではないかと思っております。

今は海外に行きにくい分、それが焚火やキャンプに変わります。どんなに忙しくても年に1回は自分を見つめなおす時間を作るようにしています。

【体を動かすこと】

普段、私の仕事は営業職ですので、どうしても学生の時のように体を動かす機会が減ってしまい、何かしなければ! と思ったのがきっかけです。団体スポーツは、人を集めるのも大変ですので一人でできること、ということで「走ること」をしています。

月に数十キロですが、走り始めると何か目標を立てた方が、モチベーションあがるかな? と思ひまして仕事の関係で長野県諏訪市に頻繁に行っているため、せっかくなら関係のある地域で参加したいと思い、諏訪市でハーフマラソンにエントリーすることにしました。

どうせなら営業先で話のネタになるかな! と思ったのも理由の一つです。

いざ大会に参加すると諏訪市の一大イベント!

こんなに諏訪湖に人が集まるのか! と思うほどの参加者でした。またオリエンタルラジオの藤森さんもランナーにエールを送っておりました。コース脇には大会が準備している給水場以外にも多くの市民が、庭先でスポーツドリンクや果物を配っており、初めての参加が諏訪湖マラソンで良かったなと思ひました。実際には練習でも15キロを超えて走ったことがなかったので、私のなかでチャレンジだったのですが、声援に励まされ完走することが出来ました。

初めてのハーフマラソンだったので2時間半を目標にしておりましたが、何とか自分の目標をクリアすることが出来、達成感を味わうことが出来ました。

当然、翌日は足が大変なことになりました(笑)

しかし! 大会が終わってしまうとモチベーションが一気に下がってしまい、このままでは走らなくなる! と思ひ新年早々、池田大喜さんをお誘いし東京で開催されるハイテクハーフマラソンにエントリーしました。諏訪湖の大会より10分以上も縮めることができ、大会終了後は焼き肉を堪能しました(笑)。年明け早々有意義な時間を会員と共有できたことを嬉しく思っております。



経営労働委員会 1年を通して4回の労働実戦塾を開催

経営労働委員会では、「会員企業1社1社がもっともっと魅力あふれる強靱な会社になる事によって、拡大や同友会運動の推進をしていこう!」という趣旨のもと、経営指針セミナー修了者を対象に、全5講にわたり「経営実践塾」を開催しました!

第0講白熱教室、第0.5講白熱教室延長戦では、森俊彦氏をお招きし、経営指針書に共通言語であるロカベンシート、経営デザインシートを足してブラッシュアップしようという取組を实践。「中小企業が金融機関を育てていこう」という言葉が印象的でした。経営者保証が外せた、プロパー融資が受けられた等の成果もありました。

第1講は徳島より、Mr.労使見解、山城真一氏の言葉。「世界で一番尊敬されなければならないのは、中小企業経営者です。誇り高き経営者を目指すために、同友会運動の参加費として会費を納めています」しびれる経営姿勢を学

びました。

第2講は大阪より、3S活動の先駆者、山田茂氏の言葉。「守ることを決めて、決めたことを守る。嘘つき経営者になってはいけない。ただし、この主語は全社員です」しびれる経営姿勢を学びました。

第3講では、広島より、ビジョン経営実践者の川中英章氏の言葉。「力があるから重い荷物をもつのではない。重い荷物を持つから力がつくんだ。」と定期採用の意義と重要性を学びました。また「理念費(理念・ビジョンを達成する費用)を捻出するために利益を出す」しびれる経営姿勢を学びました。

今回受講いただいた方々を中心に埼玉同友会はまだまだやります!やります!

(中部支部 金子昭雄 記)

全4回概要

■実践塾第0講 融資価値ある経営指針を作ろう

2022/08/01

報告者: 森 俊彦氏

(一般社団法人日本金融人材育成協会 会長)



■実践塾第1講

実践!超経営姿勢

~絶対にあきらめない!そして絶対にあきらめない!~

2022/12/09

報告者: 山城真一氏

(株)サンフォート 代表取締役

(徳島県中小企業家同友会会長理事・中同協副会長)



■実践塾第2講

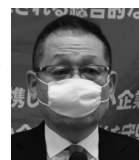
実践!超経営理念 ~理念で飯を食う!社員と儲ける~

2023/01/20

報告者: 山田 茂氏

(株)山田製作所 代表取締役会長

(大阪中小企業家同友会代表理事・中同協経営労働副委員長)



■実践塾第3講

超10年ビジョン~会社の夢は社員の夢か!?~

2023/02/28

報告者: 川中英章氏

(株)EVENTOS 代表取締役

(広島同友会・島根同友会所属 中同協共同求人委員長)



【ファミオープン学習会】

私たちが主役!

~激動の中で未来を作るリーダーに期待されることを語ろう~

報告者: 久賀きよ江氏 (株)メガネマーケット 代表取締役

3月27日、女性経営者クラブ・ファミのオープン学習会が開催されました。

これからの激動の時代のリーダー像について、ファミ新人2名が進行役を務め、パラレルディスカッションという報告者と参加者双方向での対話形式に挑戦しました。

前半は、株式会社メガネマーケット 代表取締役の久賀きよ江氏よりコロナ禍での経営努力や気づきについて報告いただきました。

久賀氏のメガネ店では、品質、かけ心地、直しが効くなどディスカウント店にできない価値を提供し、お客様のこだわりに応じて鯖江産のメガネフレームを専用に扱ってきました。しかし、コロナの外出控えで来店客は1/3以下に減少。雇用を守るため何ができるかを考え、全社でお客様のお困りごとの解決に取り組もうと決め、お客様を訪問し非接触でメガネの修理や調整を行ないました。その結果、

お客様の信頼と社員が安心して働く職場を維持でき、今ではコロナ前より売上が伸びているそうです。

後半は、経営者に求められる力について3人ずつのグループで意見交換を行いました。「創造力」「協調力」など共通の答えをグループ分けし、パラレルディスカッションではユニークな発言に新たな気づきや共感を得て、ファミらしい活発なディスカッションとなりました。

最後に久賀氏から、これからの経営者は一人で頑張るのではなく社員を巻き込み、異業種だけでなく同業者ともつながることで、自社だけではできない大きな力を発揮していくことが必要、そのために必要な力として、人を動かす「会話力」、思いを伝える「説得力」そして信頼をつなげる「共感力」の3つが大切だとまとめていただきました。

(川口支部 奥野美代子記)



各支部で開催された例会をご紹介します。

【川口支部 3月例会】

ソクラテスの産婆術 先輩会員と新会員との押し問答による 課題の明確化 ～マーケティングどんな工夫していますか?～

報告者: 工藤英樹氏 (株)工藤鉄工所 代表取締役
下重郁美氏 (MAKE UP 社) 労士オフィス 代表
コーディネーター: 柴田玲氏 (株)東都ラバーインダストリー 代表取締役



3月の川口支部例会は45名の方が参加し、リアル開催されました。

『ソクラテスの産婆術』と題して先輩会員と新会員の対話形式で、マーケティングの課題を明確化していこうという試みを行いました。前半はまだ経営指針づくりセミナーを受けていないMAKE UP 社労士オフィスの下重さんに、後半は経営指針づくりセミナーを受講したばかりの工藤鉄工所の工藤さんに、先輩会員の柴田さんが、それぞれの会社案内や現在までの経緯、強み、弱みを聞き出しながら、課題に迫っていきました。

会場の先輩方からの実際にどのような営業方法を取っているのかの意見も交えながら、今後の対策を探っていく実験的な例会となりました。

新会員のリアルな悩みを聞きながら一緒に考え、自社の強みなども改めて考え直す機会となり、また、グループ討論でも闊達な意見交換が行われ、盛会のうちに終わりました。

(中島伊都子 記)

【大宮東支部 3月例会】

埼玉同友会長期ビジョン責任者が語る 「ビジョンの持つ力で自社を伸ばす」 秘訣を公開

報告者: 吉田雄亮氏 (株)吉田電工 代表取締役 (戸田・蕨支部)

埼玉同友会の長期ビジョン策定リーダーとしての経験と、自社でのビジョン経営での経験の二本立てで報告がありました。どちらも共通していたメッセージとして、「策定プロセスに巻き込む」と「続ける」ことの重要性が強調されていたように思います。ビジョンは関係する全員で描くものであって、経営者は出来上がったビジョンを実現することに全精力を注ぎこむ



存在であること。そして、実現するまでは、たとえ孤軍奮闘であってもやり続けること。タイトルに「ビジョンの持つ力で自社を伸ばす」とありますが、力の源はビジョンではなくて、ビジョンによって触発された経営者自身なのではないでしょうか。

グループ討論では、「そもそもビジョンは必要なのか?」という根本的な問いに対しても熱く議論されました。「遠くへ行きたいければ、みんなで行け」という言葉もありますが、ひとりでは企業の目的は達せられません。社員はもちろん、社外のステークホルダーすら巻き込むほどのスケールがビジョンには求められているように感じました。

(齊藤竜大 記)

【むさし野支部 2月例会】

中小企業が地域を輝かせるために、 まず一步を踏み出そう ～障害者雇用以外にできること沢山あります～

【パネルディスカッション形式】

報告者: 日高香苗氏 (かなえハウス(株) 代表取締役)
松 康太郎氏 (東京ブレイズ(株) 代表取締役)
遠藤雄大氏 (株)エンドープラスチック 代表取締役社長
鍵和田幹夫氏 (埼玉県障害者雇用総合サポートセンター)
ファシリテーター: 関根健一氏 (geedesign 代表)



例会づくりを通して、日高氏は特別支援学校の実習受け入れに向け動き出し、遠藤氏は廃棄する資材を福祉事業所へ活用しSDGsの取り組みとして視野を広げ、松氏は方向性を示しつつも社員が気づき主体的行動に移すことを待つ姿勢を堅持する。まさに三社三様の経営者の姿勢が映し出される例会となった。

グループ発表では障害者雇用に対して無関心ではなく考え続けている。福祉事業所の商品を購入する。仕事を創出する。障害を意識し過ぎず雇用した方がたまたま健常者・障害のある方だったとなるのが望ましいなど、発表からもそれぞれの

取り組む姿勢、価値観を知ることができた。そして、障害者雇用がゴールではなく取り組む姿勢や他者を理解しようとするところが豊かな社会につながると座長のまとめで閉会となった。

(山口将秀 記)

【東部支部 2月例会】

経営指針ではばたく!

報告者:

太田利江氏〈合同会社R・プレイス 代表社員〉
岩本奈津子氏〈Total Beauty Salon Pikku Myy オーナー〉
島袋てるひと氏〈フォトスタジオ・ワークショップ 代表〉



コロナ禍において久方ぶりのリアル会場での例会でした。2022年経営指針セミナーに参加された太田利江氏、岩本奈津子氏からは、経営指針セミナー中の苦労話や考えに考えて設定した経営理念の言葉の数々、様々な想いをご報告いただきました。2021年経営指針セミナーに参加されたフォトスタジオ・ワークショップ島袋てるひと氏からは経営指針セミナー参加時の感想やその後、1年経過しての想いなどを報告いただきました。

グループ討論【どのように自社を分析していますか?】では、コロナ禍において、次の一手に向けて、参加者それぞれの取り組みに至るまでどのように分析したかなどを討論しました。また、グループ討論の発表後には盛下経営労務委員長より、同友会の企業変革支援プログラムVer2について紹介がありました。e.doyuの画面より、実際に操作いただきながら、企業の状態をデータ化ができるシステムをご説明いただきました。

(青木琢子 記)

【さくら支部 2月例会】

経営指針ってなに?何をするの?
なにが得られるの?

報告者: 西山富由紀氏〈衛星川美容室 代表取締役〉
田島陽平氏〈株式会社キュアクオリティ 代表取締役〉

2月20日(月)熊谷商工会議所にて行われました。参加者は合計32名、うちゲストが3名です。また新入会員が5名参加し、各々に同友会バッジが贈呈されました。

例会のテーマは「経営指針ってなに?何をするの?なにが得られるの?」です。経営指針セミナーを受講し指針書を作成した2名の方にご報告いただきました。

2名の方各々に経営課題がありましたが、経営指針を作成



することによって、何のために経営しているかを根本から考え、事業目的が明確にできたことで課題解決の方向性が見いだせたとのこと。 「社員の人生を背負っている自覚ができた」「経営者として一回りも二回りも大きくなった」という言葉もありました。

グループ討論では経営指針について話し合い、「使命感とビジョンを持って事業目的を遂行していけば自然に売上が上がる」「経営指針書があることで社員とともに成長できる」といった意見が出ました。発表の際「自分もぜひ経営指針を受講したい」という人もおり(後日、受講希望者が4名に)、有意義な例会となりました。

(水野純子・遠藤裕行 記)

【川越支部 3月例会報告】

人を引き付ける魅力の神髄を学ぶ

報告者:

安藤信哉氏〈株式会社(株)障害社(しょうがいしゃ) 代表取締役〉



2023年3月22日、ウエスタ川越にて3月例会が開催されました。

私の会社(株)ゆめキッズ)の親会社である、株式会社障害社の安藤信哉氏が報告者として登壇いたしました。

株式会社障害社は昨年、「第12回日本でいちばん大切にしたい会社大賞」厚生労働大臣賞を受賞いたしました。

人材育成がテーマでしたが、私自身は現在も育成して頂いているという立場であり、人を育てるというにはまだまだ未熟です。また仕事をやる上で一番の課題でもあります。

この5年間を振り返ってみると、辛い事や苦しい事が多くありました。それでも続けて来られたのは、信頼関係を築く事、可能性を信じる事、感情的に叱らない事をして頂いてきたからなのではないかと思います。

まだまだこれからも、沢山の学びを深め、人として成長し続けていきたいと改めて思いました。

(沼田加奈恵 記)

埼玉中小企業家同友会 2022年度第7回 Web理事会議事録

〈2022年度スローガン〉 **今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を**
～企業づくり・地域づくり・仲間づくりで力の湧く同友会活動を～

◆日時:2023年3月17日(金)18:30～20:30

◆会場:Web会議(ZOOM)

◆司会・議長:金子副代表理事

◆議事録署名者:奥津副代表理事

◆議事録作成者:清水事務局長

・太田代表理事挨拶

本日の理事会が今年度の最後で任意団体としての理事会としても最後になります。先日実施された中同協幹事会で2024年度の議案の検討をしました。中でも中同協としては質上げに言及した「質上げができる会社になっていこう」や地域を意識した「自社の経営指針に地域の課題を盛り込めよう」等の項目が初めて出ていました。本日の理事会では次年度の議案の協議・審議があります。しっかりと読み込み、承認していただけますようお願いいたします。

1. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

協議・審議事項

1. 入退会(報告者:事務局)承認

事務局より前回理事会以降の入会:20名、退会:11名の報告があった。入退会者については理事会で承認された。会勢は984名。

2. 2023年第50回県定時総会(報告者:正副代表理事・事務局)承認

第50回定時総会を2023年4月22日(土)に新都心ビジネス交流プラザ4階でさくら地区会の設営で第1部(総会)、2部(記念講演)、3部(懇親会、別会場で実施)の3部構成で開催する。

(1)次第・記念講演・参加登録状況について: 菊永副代表理事

(2)議案書について

- ・2022年度活動総括(案):太田代表理事(総会説明者)
- ・2023年度活動方針(案):太田代表理事(総会説明者)
- ・2023年度監査・予算(案):小林理事(総会説明者)
- ・2023年度組織図(案):太田代表理事
- ・2023年度役員名簿(案):奥津副代表理事(総会説明者)
- ・10年ビジョン:吉田副代表理事(総会説明者)
- ・2023年度活動スケジュール(案):事務局清水

【質】経営指針セミナーは平日開催ですか:今年度はそのようになります。

報告事項

1. 法人化(一般社団法人)について

(報告者:米山副代表理事、沼田監事、大藪主任)

今後の法人化するにあたってのスケジュールを確認した。各地区会共に3月末の繰越金の確定及び4月上旬対応については別途、連絡する。

- ①3月中:公証人役場で登記内容確認・修正
- ②4/3:法人登記
- ③4/4以降:金融機関と契約締結
- ④4/10頃:各支部に支部新通帳を配布しその後、新通帳に全額振込手続き
登記の定款・規則は委員会財政規則までを登記。

2. 組織強化支援室より(報告者:植竹副代表理事・組織強化支援室長)

現在、55キャンペーンについては好調に滑り出して35名が入会し成果がでてい、計画では残り枠20名。結果、現時点で984名の会勢、年度末までに1000名の会員達成を目指す。

組織強化支援室ニュース第7号を発行したので確認していただきたい。その中では2022年度の活動のまとめ、プラスワン運動実績、全国総会お誘い虎の巻、支援室会議の内容等が記載されている。

2023年度の組織強化支援室の活動方針(会員拡大8策)案を発表。組織図については現在、確認中。

定時総会での会員拡大表彰について、これまでの個人表彰から支部表彰に変える案が提出された。

意見等があれば事務局迄連絡する。

【GOGOキャンペーン】

・新会員向けに2023年より入会した方には入会金を免除する(7月末まで55名に

限り)

・会員向けに定時総会に5名以上のゲスト参加者を出した方に謝金1万円を進呈

3. 中同協 定時総会in埼玉報告(報告者:小松・宇梶実行委員長)

- ・定時総会の交流会は当初300名定員を450名に修正。希望着座制で実施する。
- ・オプションツアーは①氷川神社散策及び鉄道博物館見学コース②有名ゴルフ場でのプレイコースを設定。
- ・室長・副室長が決定した。今後、グループ長及び会員参加の呼びかけを継続する。
- ・各支部には埼玉同友会400名参加の為に推進者の推薦の依頼を行った。
- ・長野全国研では植竹室長提案の『55(ゴーゴー)サイタマ』のフレーズで定時総会のPRを大好評を博した。

4. 政策委員会報告(米山政策委員長)

2023年1～3月の景況調査(回答期限は3月25日)の中間実績は12.4%、124名の回答。まだ、期間があるのでぜひ多くの方に記入していただきたい。先日、川口支部において実施した景況調査についての例会(沼田監事報告)ではその場で用紙記入を促して内容共々、多くの成果となった。

5. 理事研修会&全国総会直前研修(報告者:横山副代表理事)

2023年度理事候補者研修会を岡山同友会代表理事の(株)マスカット薬局の高橋正志氏を招いて開催する。

高橋氏の報告内容は特に「人を生かす経営」の実践者として船井総研他、多方面で講演を招聘されているとの事。ぜひその神髄を聞いていただきたい。

- ・日時:2023年3月30日(木)18時から
- ・場所:新都心ビジネス交流プラザ4階

6. 長期ビジョン進捗状況について(報告者:吉田副代表理事)

原稿が校了したので印刷に入る予定。今後の定時総会に合わせて会員に配布予定。定時総会ではこれまでの経緯と内容について報告する。

7. 埼玉新聞社との連携企画について(報告者:米山副代表理事)

中同協協会開催&設立50周年に合わせて定時総会の機運醸成企画を推進するために埼玉新聞社の協力を受けた上で同友会として購読者募集、購読確認を2月中旬締め切りとして実施したが最終82名の購読、確認となった。今後は同友会の会員企業を埼玉新聞紙面で順次掲載していく。すでに取材等は進んでいる模様。

8. 埼玉県子供支援協定について(小松代表理事)

「埼玉県教育委員会と埼玉県内経済6団体との未来を担う子供たちの教育に関する包括連携協定」を3月10日に結んだ。これは埼玉同友会の日頃の学校等との活動が先駆的なことと評価されたことによる。これまで、共同求人委員会を始めとして埼玉同友会として様々な施策を実施してきた事が反映されたものである。

9. その他

①広報情報化委員会(齊藤委員長)

2023年度の広報情報化委員、ホームページ(HP)担当の方の各支部よりの推薦、選出をお願いしたい。各支部総会後に第1回委員会を開催する。来年はDOYOUさいたまの表紙の全面リニューアルを実施する予定。

②事務局(清水事務局長)

事務局人事:4月3日付 事務局次長 田ノ上哲美

③今年度で退任される理事の挨拶を実施。

新たな辞書の1ページ **新入会員紹介** (2/1~)



清水良則
清水設備
さくら支部
配管工、リフォーム解体



日向俊夫
(株)三和ペイント
さくら支部
塗料、接着剤、塗装機器卸売業



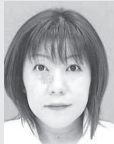
田中恵子
株山本商店
東彩支部
金属屑回収、産廃回収、リサイクル、リユース



橋本 治
ベジタ×バル0363
川口支部
イタリア料理店。50年以上八百屋を営む美家の野菜と日本各地から取り寄せた食材を使った料理店



村本雅彦
株ALMA
さくら支部
調剤薬局の運営



笠本ひとみ
(有)明日香交通
北部支部
観光バス、(企業送迎)、タクシー



大寺規夫
株ビジネスアソシエイツ
さくら支部
子供向け頭部保護帽「ほっと安心帽」卸売。中小企業経営支援(事業計画作成、補助金活用支援)他



瀧上智一
(有)マルタキ
東彩支部
シルクスクリンによる加工。主に衣料品(Tシャツ、ブルゾン、エプロン、トートバック)など



瀧田齊士
マニユライフ・ファイナシャル・アドバイザーズ(株)
川口支部
総合保険代理業



渡邊 亨
株守屋モータース
浦和支部
民間車検工場として小型車~中型車まで分解整備、板金塗装、車両販売及び自動車保険業務



山本紀与
株キャリア・ママ
大宮中央支部
アウトソーシング事業、マーケティングプロモーション、キャリア支援、各官公庁受託事業



江野脇 悠生歩
株ペンポスタ
浦和支部
損害保険、生命保険



成田浩二
サイカンシステム(株)
代理店 成田開発
大宮南支部
冠婚葬祭互助会、会員営業



星野良江
ラビスワイ コンサルティング
川口支部
経営者の思いを従業員様に伝える架け橋として、また経営者のビジョン達成のお手伝いや従業員様が活きいきと働く職場作りのサポート

● **同友会日誌** 3月1日~31日

- 1日(水) ファム10年ビジョンづくり、浦和幹事会
正副代表理事会議、埼玉葛幹事会、東部幹事会
戸田・蕨幹事会、中部幹事会、むさし野幹事会
- 6日(月) 東彩幹事会、さくら幹事会、彩北幹事会
- 7日(火) 人を生かす経営勉強会、大宮東幹事会、川越幹事会
川口幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 8日(水) 広報情報化委員会
- 9日(木) 川越・むさし野・西部合同例会実行委員会
大宮中央幹事会、北部幹事会
- 10日(金) 仕事づくり委員会、青年部例会
- 11日(土) 浦和例会
- 13日(月) ファム幹事会
- 14日(火) 共同求人委員会、障害者雇用推進委員会
川口例会、西部例会
- 15日(水) むさし野例会、埼玉葛例会
- 16日(木) 合同企業説明会、大宮中央例会、東部例会
大宮南例会、経営労働委員会、北部例会
- 20日(月) 新入会員オリエンテーション、大宮東例会
さくら例会、東彩例会
- 22日(水) 川越例会
- 23日(木) グループ長研修・設営実行委員会【中同協定時総会】
東京同友会(北)・戸田・蕨合同例会
- 24日(金) 中部例会
- 27日(月) 政策委員会、青年部幹事会、むさし野正副連絡会
- 28日(火) 障害者雇用推進委員会・彩北合同オープン学習会
大宮ブロック会議、社員教育委員会
- 30日(木) 2023年度新理事研修&全国総会直前研修

会員数

2023年3月31日現在

支部名	会員数	支部名	会員数	支部名	会員数
川 口	83	大 宮 南	73	北 部	35
戸 田・蕨	48	西 部	41	さ くら	103
浦 和	68	む さ し 野	88	川 越	88
大 宮 東	39	東 部	126	東 彩	69
大宮中央	33	中 部	49	彩 北	18
		埼 葛	42	計	1,003

編 集 後 記

コロナを理由に避けていたことってありますか？ 私にとってはゴルフです。アフターコロナで、取引先とのゴルフコンペも復活し、いよいよやらなければ！と現在、猛練習中です。ゴルフ教室では、先生に教わったことも一つできると一つ忘れて、考えすぎるとバラバラになってしまいます。でも先生は良いところを見つけて褒めてくれます。褒められると伸びる子なので、今のところ飽きもせず継続しています。いや、むしろ楽しい!? これから緑のきれいな季節。グリーンがきれいですよね！どなたかビギナーカップしませんか??

(川口支部 山本 佳奈子 記)

● **会員information**

《住所変更》

東部支部 ひまわり行政書士・社会保険労務士事務所
向佐良倫会員
〒343-0034 埼玉県越谷市大竹 112 番地 1

戸田・蕨支部 財務フューチャー 森永雅幸会員
〒251-0021 神奈川県藤沢市鶴沼
神明 5-9-13-4

◆ **訃報** 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

川口支部 田口舞純会員のご主人様がお逝去されました。



いつもご覧いただき、ありがとうございます。[DOYOU さいたま]をよりよくするために、アンケートを実施しています！
今後の誌面づくり、広報情報化委員会の活動に活かして行きますのでぜひご協力をお願いいたします。

世界と日本をつなぐ懸け橋になりたい!



①生い立ちや今までの体験談

今回、人当たりがよく、話し好きに見える小倉越子さんに体当たりで取材をしてきました。静岡県沼津市のご出身、富士山の麓、海が見え、とても穏やかな環境で育ちました。この地には、地元の女子高校に卒業まで住んでいました。性格はとても快活で、勉強ができ、優等生。生来、声が良かったせいか、歌うことが大好きで、大学では合唱団に所属していました。特に中学生の頃は、生意気盛り、社会の先生を困らせるほど、社会問題については、自分の意見をはっきりと述べる生徒だったそうです。また、高校では生徒会会長になり、積極的に学校の生活改善活動に取り組みました。周りの生徒からは、えっちゃんの話はとにかく面白い! と人気があったそうです。有意義な高校生活を過ごした小倉さん。ロシアの文豪、トルストイやドストエフスキーのロシア文学に憧れ、大学ではロシア語学科に入学します。在学中、旧ソ連のイルカーツクを含め、世界各地へ一人旅をし、海外の人たちとの交流を深めてきました。今、ニュースで取り上げられることの多いロシアですが、ロシア人は隣国である日本人に対して、大変親しみを持っているのに驚いたそうです。

②同友会との出会い

合唱及び勉学にとっても有意義な学生生活を過ごしました。大学卒業後、狭き門とされるリクルート社に就職します。入社2年後に、リクルート事件が起こり大変有名な会社になりました。入社試験で、当時の河野栄子取締役(のちに多くの政府審議会の委員を歴任)の面接に合格し、難関を突破できたことは、今でも誇りに思っています。営業職に配置され、その後社員研修を企画立



案する事業部に異動し、約4年間活躍します。その後大手の小売りスーパーに転職します。リクルート社で養われた営業力が、この会社で実力発揮。お客さんのリピーターがどんどん増え、生活家電分野でトップセールスに躍り出ます。その販売力が会社を買われ、店舗拡大時、全社向けのCS放送制作部署に異動します。また東南アジアをはじめ、中国、オーストラリア、南米等の国々とも交流し、海外の学生が日本語に興味を持ち、日本で働きたいと夢を抱いていると肌で感じたといいます。人事・労務管理の部署にも7年間所属し、社会労務士の資格を取得後、社会労務士として独立。海外の若い人たちに日本語を教え、日本を是非知ってもらいたいという思いから、日本語の教師にも携わりました。その間、人事教育にも興味を持ち、中小企業家同友会で社員教育に力を入れていると知り、2012年4月に入会します。同友会の社員教育委員会で活躍します。浦和地区会でもこの2年間は仲間づくり委員長として奮闘しました。また、県立高校で、外国につながる生徒に対して、日本語教育に力を入れ始め、12年間ほど携わります。

③今後の計画、夢

2020年10月、日本の出入国管理法改正があったのをきっかけに、海外からの就労者の数が増加しました。これをチャンスに、今まで培ってきた経験を活かし、夢を持って来日した海外からの人々を全面的にバックアップしたいと思うようになり、NPO法人を立ち上げました。この4月新しい会社を立ち上げました。理念は、「ダイバーシティ」と「インクルージョン」。多種多様な文化を持つ、海外から来日する人たちと、日本人が共生できる組織づくりを全面的にサポートしたい。ボランティアでなく、仕事としてこの仕事に携わっていききたいと思う様になりました。今回の取材を通じて、アイデアと行動力では他者には引けを取らない小倉さんの輝かしい姿に接することが出来ました。

(三友哲哉 記)



小倉越子

おぐら えつこ

アーベージェ株式会社

代表取締役

浦和支部

さいたま市浦和区高砂2-3-5-502

TEL: 048-839-6975

一般社団法人
埼玉同友会
広報情報化委員

●委員長●

東 彩 齊藤壽和

●副委員長●

川 越 小田 明

埼 葛 松本賢二

中 部 矢澤敦臣

●委 員●

川 口 福井千波

山本佳奈子

山室 奈美

戸田・藤 池田大喜

浦 和 三友哲哉

大森靖之

柴田大智

大宮中央 鈴木光義

高橋満広

大宮南 加藤早苗

北村政義

西 部 水野美和

古崎千穂

むさし野 鳥袋輝仁

小川洋一

中 部 矢澤敦臣

中山晴喜

埼 葛 松本賢二

北 部 東禎章

さくら 遠藤裕行

水野純子

川 越 小田明

東 彩 齊藤壽和

彩 北 江田雅之

●制作担当●

柘込博久

●印刷・製本●

加藤早苗

●事務局●

古川佳子

(順不同・敬称略)

